

令和4年度 当初予算のご報告

埼玉県議会自民党議員団
中屋敷 慎一

令和4年5月

令和4年度所属委員会等



	<ul style="list-style-type: none">埼玉県議会議長
特別職(埼玉県任命)	<ul style="list-style-type: none">なし
常任委員会	<ul style="list-style-type: none">文教委員会委員
特別委員会	<ul style="list-style-type: none">なし
自民党議員団役職	<ul style="list-style-type: none">なし
自民党埼玉県支部連合会	<ul style="list-style-type: none">なし



令和4年度当初予算

～新たな150年に向けた挑戦～



直面する危機からの脱出

日本一暮らしやすい埼玉へ

安心・安全の追求

誰もが輝く社会

持続可能な成長

一般会計

過去最高

2兆2,284億5,900万円

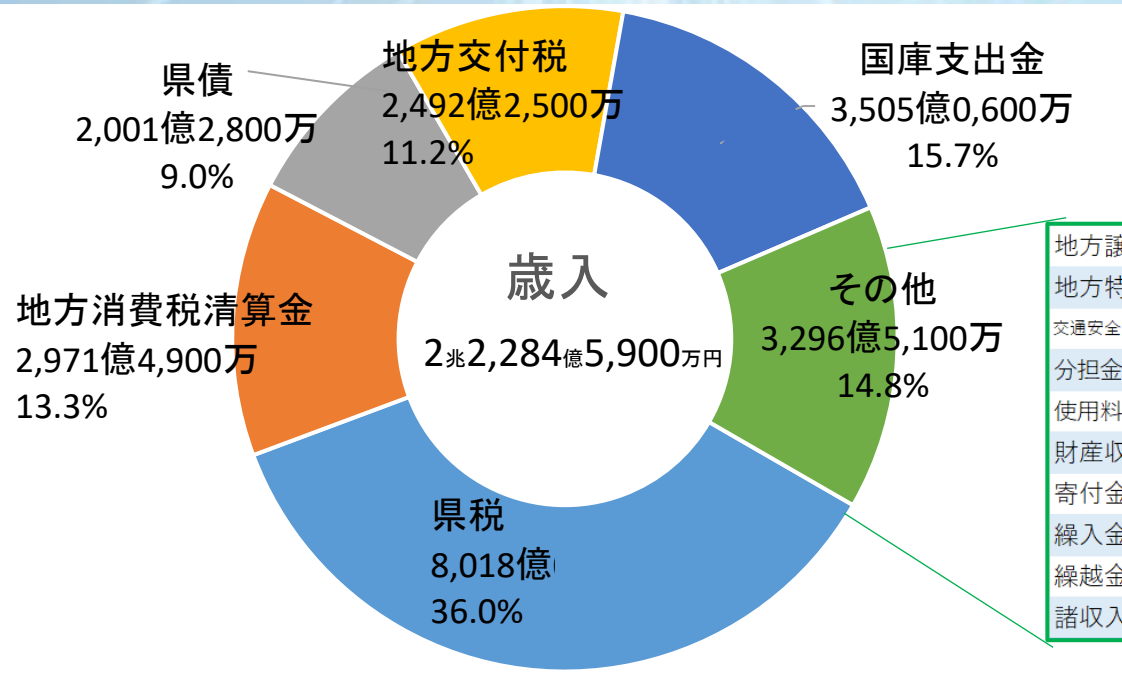
(前年度比+5.1%)

13か月予算による

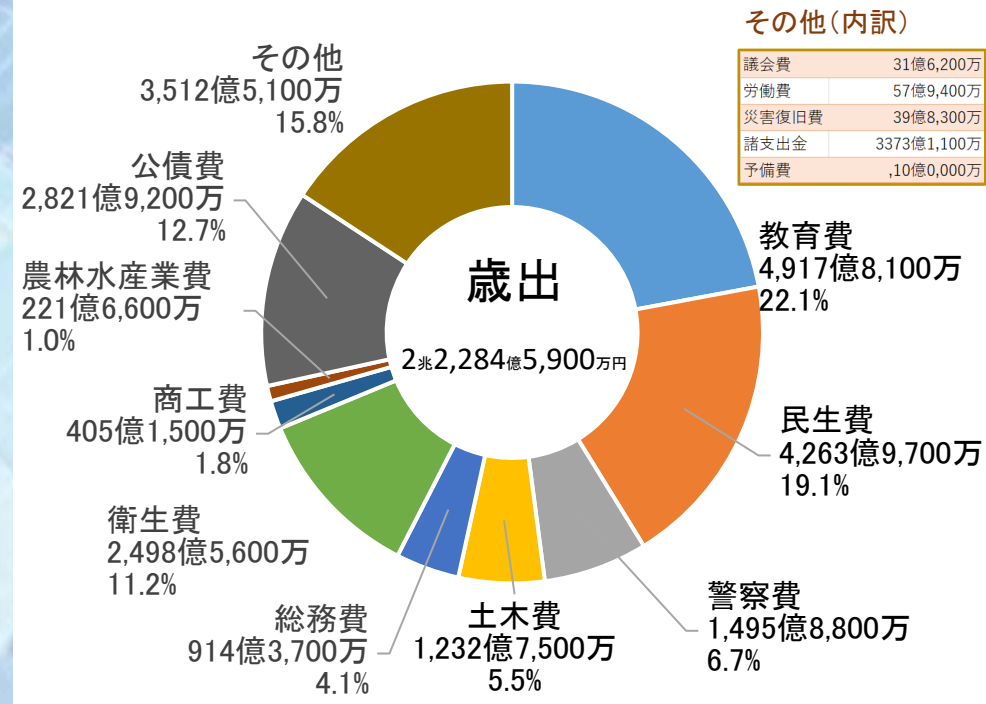
防災・減災、国土強靱化等の推進

(令和3年度2月補正)

549億3,564万3千円



地方譲与税	1314億3,800万
地方特例交付金	55億8,200万
交通安全対策特別交付金	14億7,900万
分担金及び負担金	24億2,400万
使用料及び手数料	265億8,600万
財産収入	147億2,100万
寄付金	1億2,400万
繰入金	1060億2,900万
繰越金	5億0,000万
諸収入	407億6,800万



その他(内訳)	
議会費	31億6,200万
労働費	57億9,400万
災害復旧費	39億8,300万
諸支出金	3373億1,100万
予備費	,10億0,000万

主な新規事業

～令和 4年2月定例会にて～

当面する危機からの脱却、回復・成長 新型コロナウイルス感染症の拡大防止①

一部
新規

拡充

検査・医療提供体制等の確保

1,705億1,649.9万円

■ 検査・医療提供体制の強化

- 感染拡大傾向時の無料PCR検査・抗原定性検査実施

新規
拡充

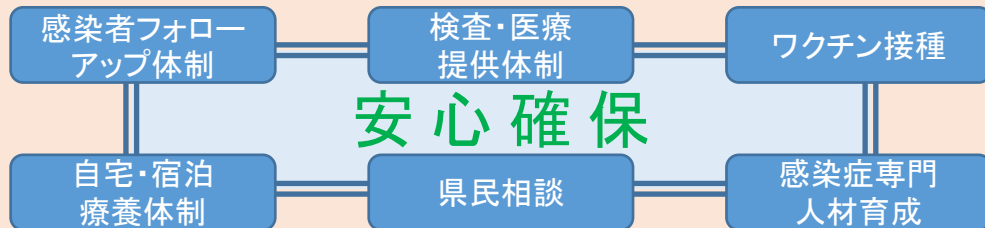
- 入院医療機関への協力金
- 救急等医療提供体制確保支援

■ 軽症者等の医療体制の確保

■ 県民相談体制の強化

■ 感染者フォローアップ体制の強化

- 宿泊療養施設の確保
- 自宅療養者の健康観察体制の拡充
*配食サービス、パルスオキシメーター配布など



拡充

新型コロナウイルスワクチン接種の推進

99億7,026.5万円

■ 接種医療機関等への財政支援

■ 埼玉県ワクチン接種センターの運営

- 追加接種を加速するため接種会場を**県内4カ所**に拡充



■ 副反応等の相談窓口の運営、ワクチンに関する広報

- 24時間対応の電話窓口設置 など

当面する危機からの脱却、回復・成長 新型コロナウイルス感染症の拡大防止②

一部
新規

福祉施設における感染拡大防止

27億7,462.4万円

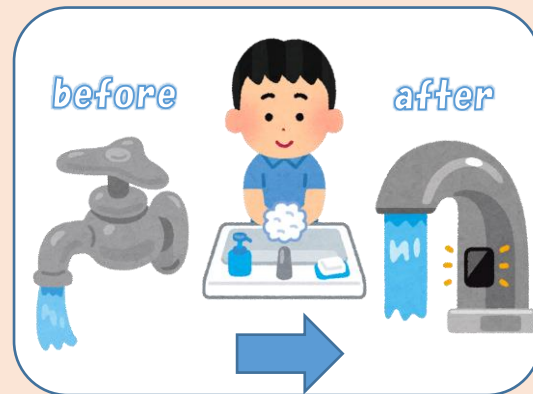
■ 介護施設等における感染拡大防止対策への支援

- 多床室の個室化
- 簡易陰圧装置の設置
- 換気設備の設置
- ゾーニング環境等の整備

= 経費の補助

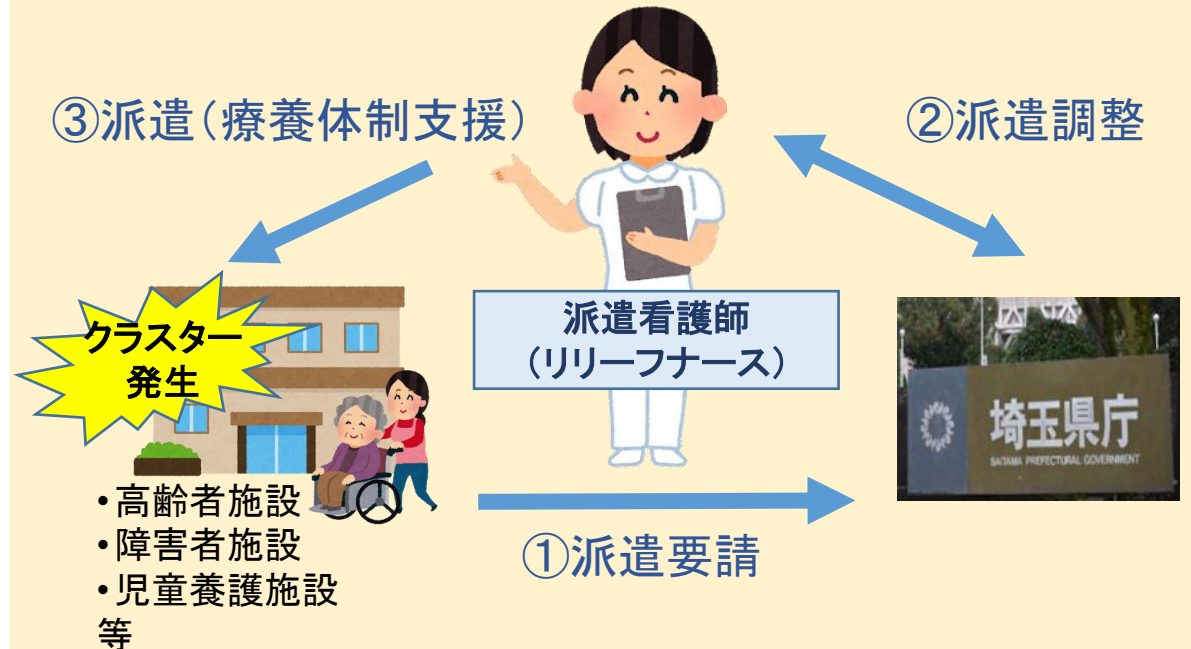
■ 新 児童福祉施設等における感染拡大防止対策への支援

- 保育所及び放課後児童クラブ等のトイレの乾式化や非接触型水栓の設置等への助成
- 児童養護施設等における個室化に要する経費等への助成



■ 新 福祉施設におけるリリーフナース制度の構築

- 高齢者施設等に看護師を派遣し、施設内の療養体制を確保
- 看護師が巡回指導し、施設の感染症対応能力を向上



一部
新規

事業再構築の取り組み等への支援

2億9,962.4万円

新 中小企業事業再構築支援事業

- 埼玉県事業再構築支援センターにおけるセミナーの開催や相談・専門家派遣
- 事業再構築計画策定費用補助事業
国の補助金事業申請のための
コンサルタント等依頼費の補助
・補助率1/2以内 上限額25万円
- 経緯革新デジタル活用支援補助事業
・補助率1/2以内 上限額150万円



■ 中小企業経営革新促進事業

経営革新計画の承認からフォローアップまで=商工団体との連携した一貫支援

■ 地場産業のチャレンジ支援事業

- コロナ対応チャレンジ事業・・・補助率2/3以内上限額150万円
- 展示会出展支援事業・・・補助率1/2以内上限額15万円

事業の再構築に挑戦する県内事業者の皆様へ

「事業再構築補助金セミナー & 事業計画書作成個別相談会」のご案内

- ウィズコロナ・ポストコロナの経済社会変化に対応し、業種・業態転換などに取り組む県内中小事業者の皆様 向けに事業計画策定等の支援を実施します。
- 事業再構築補助金採択のためのノウハウが詰まった「事業再構築セミナー」のほか、専門家による「無料個別相談会」も合わせて開催します。
- 相談は無料です。皆様のご参加をお待ちしております。

地域	日時	会場	アクセス	定員
県北	令和4年6月1日(水) 13:30~16:40	熊谷商工会議所 2階「大ホール」	「上越・長野線熊谷駅」JR高崎線熊谷駅(北口)より徒歩約8分	先着10名
県南	令和4年6月3日(金) 13:30~16:40	大宮ソニックシティ 6階「603会議室」	JR 大宮駅(西口)より徒歩約5分	先着20名
県西	令和4年6月8日(水) 13:30~16:40	川越商工会議所 2階「大会議室」	・「東武新緑線」本川越駅より徒歩約15分 ・「東武東上線・JR川越線」川越駅より徒歩約25分	先着10名
県東	令和4年6月9日(木) 13:30~16:40	春日部商工会議所 2階「大会議室」	「東武スカイツリーライン」春日部駅(東口)より徒歩約8分	先着10名

13:30~14:30
第1部 「事業再構築補助金の概要と採択のポイント」
(講師) 一般社団法人 埼玉県商工会議所連合会
広域指導員 黒澤元国氏

14:40~16:40
第2部 「事業計画書作成個別相談会」
・1社につき1名の専門家が、事業計画書作成の相談に対応します。
・時間内で解決しない場合は、個別相談のフォローアップも可能です。(無料)

申込方法 右のQRコードから申込用フォームに必要事項を記載し、送信してください。お申し込み後、事務局よりセミナー確認メールを返信します。
※ご参加は事前登録制とさせていただきます。
※マスクの着用、発熱などの症状がある場合はご来場を控えるなど感染症対策を徹底してください。
【お問合せ】
埼玉県事業再構築支援センター 【10:00~16:00(土日祝日を除く)】
(TEL) 048-657-8271 (E-mail) jigyou-saikouchiku@cci-saitama.or.jp

新規 中小企業におけるデジタル人材の確保・育成の支援

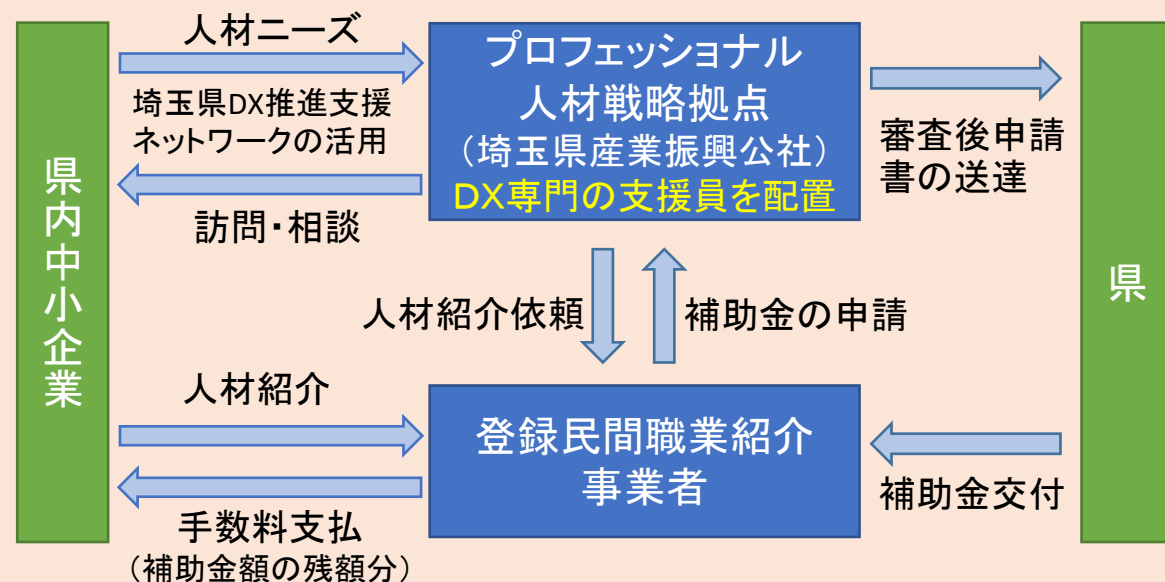
2億3,980.1万円

■ 即戦力となる人材確保を支援

県内中小企業が登録民間職業紹介事業者に支払うデジタル人材に係る人材紹介手数料を助成

⇒即戦力となる人材確保の支援

- 補助率 人材紹介手数料の1/2 上限額150万円



■ デジタル分野における人材の育成を支援

- 高等技術専門学校を中心とした地元企業とのネットワーク構築と企業のニーズ把握
- 人材育成担当者向けの意識啓発セミナー・交流会の開催
- 短時間講座を在職者向け訓練として実施

■ 女性のデジタル人材育成推進事業

- 女性のデジタル人材育成プラットフォームの設立
支援対象者の掘り起こし/中小企業とのマッチング体制の構築
- 女性のデジタル人材育成講座の開催
【対象】子育てなどで長期間離職している方など
⇒オンラインで受講できるデジタル人材育成講座を実施
- 女性のデジタル人材育成に係る就業相談等の実施
 - 女性キャリアセンターにおいて
 - 個別相談
 - セミナー など



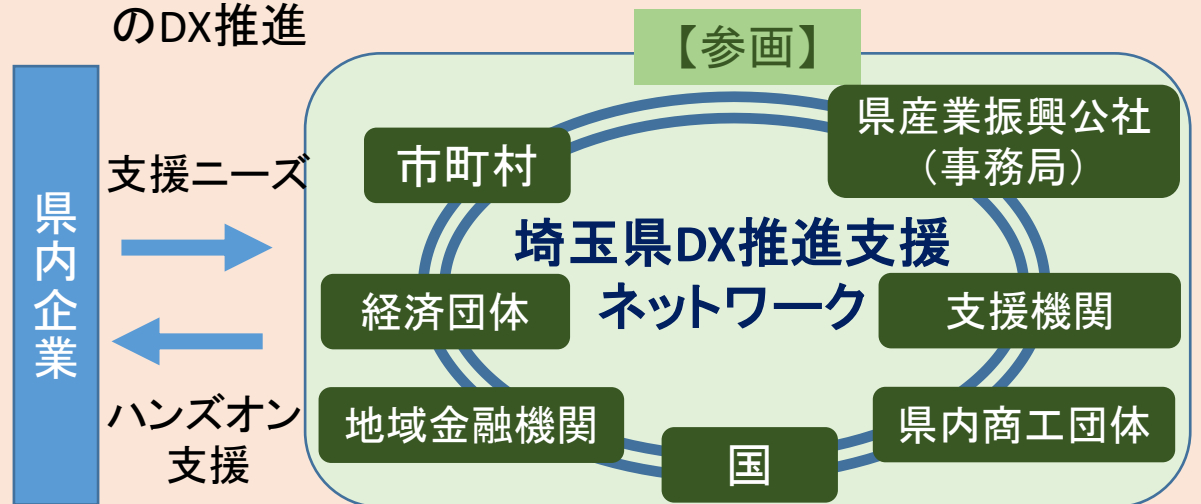
一部
新規

デジタル化によるビジネスモデルの転換支援

5億5,225.6万円

■ 県内中小企業のDX推進

新「埼玉県DX推進支援ネットワーク」を軸とした県内企業のDX推進



- 支援策のウェブサイト発信
- IT企業等を支援パートナー登録し、県内企業とのマッチング促進
- DXの推進役となる人材を対象とした、講座への助成

新 経営革新デジタル活用支援事業
デジタル技術に係る経営革新計画の実行に要する費用の補助

■ 技術・製品の開発支援とAI・IoTの活用支援

- 一新技術開発の支援
 - デジタル等に関する技術・製品の開発支援
 - 産学連携による技術開発向上支援
 - 人材育成セミナーなどの実施

- AI・IoT活用の支援
 - 企業におけるAI・IoT導入支援
 - 普及啓発・人材育成等の実施



- デジタルものづくり環境の変革推進事業
 - 産業技術総合センターに整備した3Dプリンタ等のデジタルデータによるモノづくり環境を活用

■ オンラインを活用した販路開拓

- 常設のビジネスマッチングサイトを構築・運営
- 新** 中小企業海外販路開拓支援事業

新 キャッシュレス決済の導入に取り組む商店街への支援
⇒売上向上と業務効率化



一部新規 行政のデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進-1

19億454.2万円

DXの推進 ▶ 県民がメリットを実感できる社会全体のデジタルトランスフォーメーションを目指す

● テレワーク・ペーパーレスの推進

- 働き方改革
- 業務の効率化
- コミュニケーションの活性化

● デジタイゼーションツールの運用

- ファイル管理システム
- WEBコミュニケーションツール
- ペーパーレス支援ソフトウェア

● DX計画実行事業

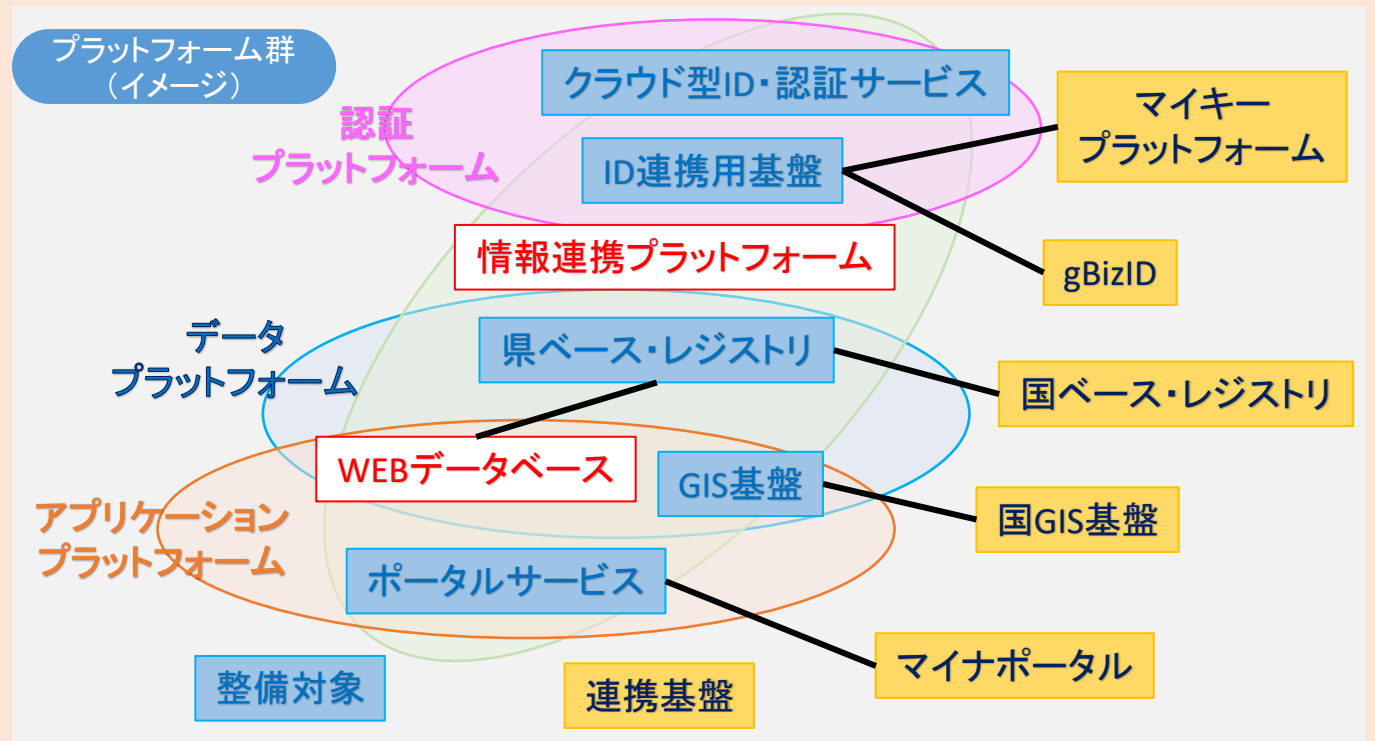
- DX推進計画の進捗管理
- システム標準化ルール運用
- 技術サポート等のコンサルティング委託
- DXに向けた会議等の運営

● WEBデータベース推進事業

- 手続きのオンライン化推進のための対象事業拡大
- 行政手続きのワンスオンリー化
- 業務プロセス見直しによる行政サービスの変革推進

新 情報連携プラットフォーム整備計画事業

- 県民と事業者へのワストップ・ワンスオンリー行政サービスの整備に対する各種調査、要件定義等



一部新規 行政のデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進-2

19億454.2万円

DXの推進に向けた基盤整備 ▶ 行政サービスの着実なデジタル化やセキュリティ水準の確保などの整備

● 基幹系業務システムの最適化

□ 新たな財務会計システムの構築

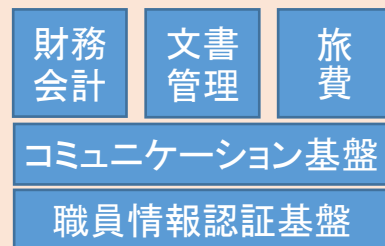
【R7稼働予定・・・R4～R6構築】

- ・ 県民との取引のデジタル化・キャッシュレス化
- ・ データ活用基盤の構築と財務データ連携
- ・ 財務事務のワンスオンリー化
- ・ 財務事務改善とペーパーレス化

□ プロジェクト管理支援業務

【対象】

財務会計・文書管理・旅費・コミュニケーション基盤・職員情報認証基盤、職員情報認証基盤



● 第5次県庁LANの構築

- より高度なセキュリティの実装 → 機能・性能面を強化

● 次期情報セキュリティクラウドの導入

- 国の標準要件を基とする次期情報セキュリティクラウドの導入

新 公金収納キャッシュレス化

- 放置違反金の納付にスマートフォン決済アプリを追加
- 全ての税目の納付書に統一QRコードを印刷するためのシステム改修
- 電子申請システムにおける決済手段としてクレジットカード決済機能を新たに追加

- ・ Pay-easy(ペイジー)
- ・ クレジットカード【追加】



スマホで読み取り



新規 エssenシャルワーカーの処遇改善

136億3,125.5万円

■ 介護職員、障害福祉職員、児童養護施設職員、保育士、放課後児童支援員等の収入引き上げのための支援

- 介護職員等の賃上げ効果が継続される取組を行うことを前提。
- 地域でコロナ医療など一定の役割を担う医療機関に勤務する看護職員を対象に、賃上げ効果が継続される取組を行うことを前提。

■ 医療ニーズの増大見込みのための、看護職員の更なる確保を図る

- 離職防止・職場定着の促進
 - 子供を持つ看護職員等・・・病院内保育所を運営する医療機関に対し、運営経費の一部を補助
 - 新人看護職員の早期離職防止、職場定着、看護の質の向上・・・新人看護職員研修の実施支援



保育士、幼稚園教諭、介護施設や障害福祉施設職員等

収入を3%程度引き上げ
月額9,000円

看護師

収入を1%程度引き上げ
月額4,000円
※10月以降は診療報酬の改定により3%程度へ



日本一暮らしやすい埼玉に向けた将来像の実現 県民の暮らしの安心確保

交通安全対策の推進

交通安全施設整備

- 通学路における歩行者用信号機増設
- ゾーン30プラスの整備による生活道路対策

52億9,436.9万円

歩道や自転車通行空間の整備

26億6,594.3万円



前

歩道整備、大間木蔵線：
川口市



後

新 子供の命を守る通学路の緊急対策

8,000万円

- ガードレール等による安全対策の実施
- ※令和4年度は170箇所を実施



前

ガードレール整備、
さいたま鴻巣線：北本市



後

ケアラー・ヤングケアラーへの支援

新 ヤングケアラー支援体制の整備

2,991.1万円

- ヤングケアラー支援推進協議会の設置・検討・コーディネーターの配置
- ヤングケアラーの相談・見守り体制づくり
- 地域におけるヤングケアラーの早期発見・把握の体制づくり 他

ケアラー支援事業の推進

7,036.7万円

- ケアラー・ヤングケアラー支援に関する普及啓発
- 居場所づくり
- 市町村等相談支援機関の人材育成支援
- 支援体制の整備
- ケアラー入院時の要介護者受入施設の運営などの総合支援



教育相談支援体制(ヤングケアラー等)の充実

10億751万円

➢ ヤングケアラーサポートクラスの推進

- 出張授業「ヤングケアラーサポートクラス(YCSC)」の実施・・・16回
- 元ヤングケアラーや有識者による講演会

新 元ヤングケアラーなどによる相談・交流会

- ※対象：高等学校、中学校、保護者 等

➢ ヤングケアラー指導資料の作成(全国でも先進的な取組)

新 指導資料「ヤングケアラー授業デザインキット(YCSC DIY)」の作成

- ※学習指導案、児童生徒用ワークシート、説明資料等(デジタル教材)

日本一暮らしやすい埼玉に向けた将来像の実現 介護・医療体制の充実

地域の医療体制の充実

新 遠隔妊産婦モニタリング支援整備を活用した産科医療体制整備事業 4,511.4万円

- 一般産科の分娩監視装置を基幹病院とオンラインで接続

母体管理・搬送判断を支援

- 母体搬送時に救急車搭載のモバイル分娩監視装置の整備

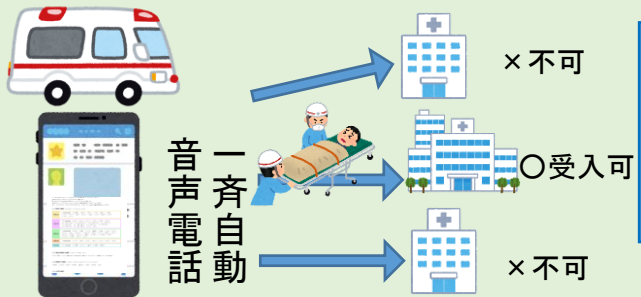
受入医療機関の迅速な処置等に役立てる



新 大動脈解離の救急医療体制の整備 639.3万円

- 大動脈解離の観察基準と医療機関リストの見直し
- 搬送調整方法の見直し

スマートフォンなどで入力した患者情報を元に複数の医療機関に同時に受入照会できるよう、救急医療情報システムの機能を強化



- ① スマホで患者情報を入力
- ② 複数の基幹病院等に自動音声電話
- ③ 基幹病院等はシステムで受入れ可否を回答
- ④ 消防は受入「○」の基幹病院等に連絡の上、搬送

⇒取組の成果を検証し、他の疾患へも展開

医師確保対策の推進

医師の不足及び医師の偏在の解消

- 埼玉県総合医局機構の推進
 - 臨床研修医の県内医療機関への誘導
 - 若手医師のキャリア形成支援
 - 地域医療教育センターのシミュレータを最新機器に更新
- 医学生・研修医の誘導・定着促進
- 医師にとって魅力ある「埼玉ブランド」の構築
 - 勤務医の労働時間短縮に向けた取り組みの助成
 - 最先端知識・技術の習得のための海外留学支援
- 後期研修医獲得定着事業

9億130.9万円



シミュレータ機器



埼玉版ネウボラの推進

2億6,899.5万円

本県独自の取組「産後うつケア」等の事業を行う市町村を支援等

- 子育て世代包括支援センターの整備促進・支援
- 産前産後の支援に係る事業の推進
- 新** 母子保健と児童福祉の一体的相談支援体制の構築
- 新** 不安のある妊産婦への家事・育児支援



両分野のマネジメントができる人材の配置

日本一暮らしやすい埼玉に向けた将来像の実現 子育てに希望が持てる社会の実現

☐ 児童虐待防止対策の強化

一部新 児童虐待相談対応の充実 1億3,055.2万円

- SNSを活用した相談窓口の開設
- 休日・夜間の児童虐待対応窓口の民間委託
- 児童の安全確認の一部を民間委託
- 児童相談所の業務効率化
 - ☐ 音声認識による記録の自動作成システムの導入

☐ ICTの活用⇒児童相談所業務支援システムへの児童虐待の類似事例検索機能の追加等



一部新 市町村における相談体制強化の支援 3,907.3万円

- 虐待相談対応の中核となる市町村職員の養成支援
- 相談救助技術向上のための支援
 - ☐ 児童福祉司等の経験者を市町村へ派遣等
- 市町村が実施する子育てに悩みや不安を抱えている保護者に対するペアレントトレーニング、要支援家庭への家事・育児支援に対する補助

音声のテキスト化

日本一暮らしやすい埼玉に向けた将来像の実現 未来を創る子供たちの育成

多様なニーズに対応した教育の推進

■ 学習環境のデジタル化 7億6,195.6万円

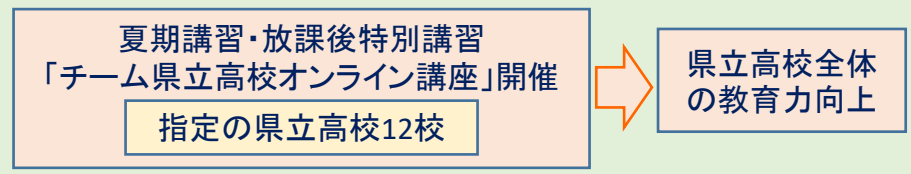
更なる個別最適な学びの実現を図る

- 一部新** 県立学校におけるICT環境整備
 - 新たな指導用端末整備、高速大容量ネットワークの運用など
- 一部新** ICT活用支援事業
 - 「GIGAスクール運営支援センター」の開設
⇒学校のICT活用の支援



県立高校における教育内容の充実を図る

- 新** データサイエンス・AIリテラシー活用における調査研究
 - 教科「情報」や総合的な探究の時間等を活用⇒授業実践及び教員の育成を行う
- 新** 県立高校オンライン講座の実施

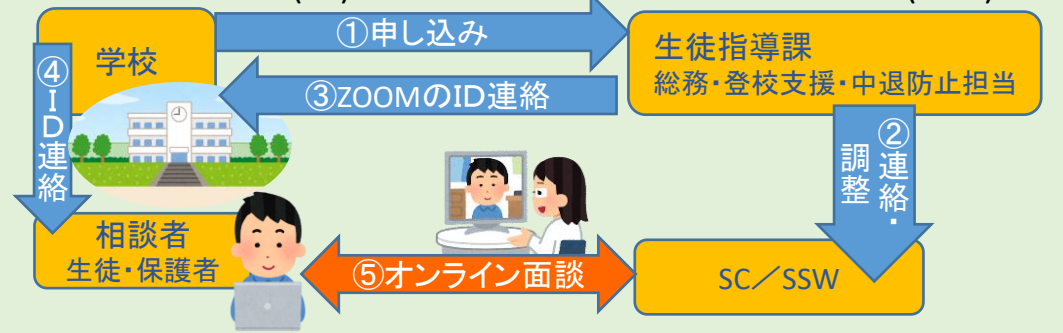


- 新** デジタル採点システムの検証
 - 県立高校10校⇒デジタル採点システムの導入⇒採点業務等の効率化や正誤分析等を基にした生徒の理解度の把握・授業改善を図り、その効果の検証

■ いじめ・不登校対策相談体制の充実 9億7,825.1万円

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置し、教育相談体制の整備・充実を図る

- スクールカウンセラーの配置
 - スクールソーシャルワーカーの配置拡充
 - 高校相談員の配置
 - 精神科医の配置
 - スチューデントサポーターの派遣
 - 中学校相談員配置市町村への助成
 - 相談員の研修
- 新** オンライン相談の実施
 スクールカウンセラー(SC): 週5 / スクールソーシャルワーカー(SSW): 週2



一部新 特別支援学校の整備 48億9,513万円

新たな特別支援学校の設置と既存校における教育環境を整備

- 県東部地域特別支援学校(仮称)の設置: 旧岩槻特別支援学校の跡地利用⇒小学部・中学部・高等部(普通科)※30学級200名程度

日本一暮らしやすい埼玉に向けた将来像の実現 誰もが活躍し共に生きる社会の実現①

誰かが生き生きと活躍できる社会へ

■ 若者人材の県内企業への就職支援 5,992.2万円

若者が自らの望むキャリアを形成し安定した生活を送れるように

● 県内大学生等の県内企業への就職促進

- WEBの会社説明と対面のリアル面接を行う合同企業面接会の開催
- 大学での「地元就職・地元企業魅力発見」ワークショップの実施

● 新 県内企業合同インターンシップ情報説明会の開催

- ジョブフェス埼玉(合同企業説明会)の開催



● 就職氷河期世代等の正社員化支援

求職者・企業双方の支援によるマッチングや職場定着の促進

- 求職者支援: 社会人基礎研修、キャリアカウンセリング、合同説明会
- 企業支援: 人材戦略セミナー、キャリア形成支援アドバイザー派遣

■ 女性のキャリアアップへの支援 2億4,832.5万円

働きたいと願う女性が、生き生きと活躍できるよう就労継続やキャリアアップをワンストップ支援

● 女性キャリアセンターにおける支援

- 多様なニーズに対応した就業支援
⇒ 個別相談・各種セミナー開催等
- 働く女性のキャリアアップ支援
⇒ 県内中小企業で働く女性対象に、職場への定着や仕事と家事の両立を支援するセミナー及び管理職向け研修の実施
- 在宅ワーカー育成
⇒ セミナーや企業とのマッチング支援等

● 新 潜在的求職者チャレンジ応援

- ⇒ コロナ禍で離職した潜在的な女性求職者へ向けて
- 部局連携による支援
- ワンストップ支援サイトの運営

対面 **【女性キャリアセンター】**

- ・個別相談
- ・職業紹介
- ・就業支援セミナー
- ・キャリアアップセミナー

ネット **【ワンストップ支援サイト】**

- ・就業、企業の相談窓口情報
- ・支援制度や支援機関の情報
- ・事例紹介
- ・企業、男性向けの情報



日本一暮らしやすい埼玉に向けた将来像の実現 誰もが活躍し共に生きる社会の実現②

誰かが生き生きと活躍できる社会へ

■ 障害者が安心して暮らせる場の確保 16億2,256.9万円

- **新** 重度障害者が安心して暮らせるグループホームの設置促進
 - 空き家を活用した重度障害者グループホーム整備促進事業
 - 重度障害者を支援できるグループホーム職員の育成
 - 重度障害者が安心できるグループホームを認証

● 障害児(者)福祉施設等の整備促進

障害児者の生活の場である入所施設や通所事業所・グループホーム等の整備を促進



● **新** 分身ロボットを活用した障害者就労支援事業 170.8万円

重度障害者が自宅から遠隔操作可能な分身ロボットによる接客業務等を行い、就労の機会の確保と社会参加を促進



庁舎案内

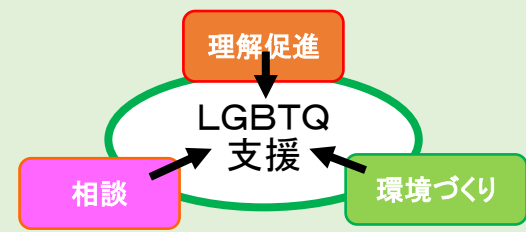


カフェでの注文

分身ロボット「OriHime」での接客イメージ
写真提供元: (株)オリィ研究所

● **一部新** LGBTQへの支援 2,000.7万円
LGBTQ(性的マイノリティ)が自分らしく生き生きと活躍できる埼玉をつくる

- 県民・企業の理解促進
 - 企業向けオンライン研修の実施
 - 企業を対象としたLGBTQ指標制度の導入
 - 大学生向けに、アライを増やす取組を実施
- 相談窓口の設置
 - SNS、電話によるLGBTQ専門相談窓口の設置
 - 企業の取組支援のための企業向け相談窓口の設置
- 安心して生活できる環境づくり
 - 県の制度や取組を検討するための当事者を交えた懇話会の開催
- 性の多様性を尊重した教育の推進
 - 性的指向や性自認に悩む高校生を対象としたオンラインサロンと相談会の実施
 - 性の多様性の理解促進を目的とした保護者向け動画の作成



顔出しNGで秘匿性確保

日本一暮らしやすい埼玉に向けた将来像の実現 持続可能な成長を実現する①

未来を見据えた社会基盤の創造

一部新 埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進 **1億4,282.1万円**
プロジェクトに取り組む市町村への財政的・技術的支援の展開

プロジェクトに取り組む市町村(第1弾)

さいたま市、熊谷市、秩父市、入間市、和光市、久喜市、毛呂山町、小川町、鳩山町、横瀬町、美里町



● プロジェクトに取り組む市町村への補助

①事業化検討補助	まちづくりの事業化に向けた検討費用
補助率1/2(※) 上限5,000千円	〈例〉サウンディング調査に係る費用や事業化に向けた検討会議開催費用など
②事業推進補助	まちづくりに関するソフト・ハード事業
補助率1/2(※) 上限50,000千円	〈例〉アプリケーションの開発や地域拠点施設の整備など

※令和3年度の普通交付税不交付団体

● 市町村へのまちづくりに関する技術支援

- 地域の実情に合った都市整備手法を検討し、市町村へ提案・助言を行う
(例)民間資金を活用した公共施設跡地への拠点整備



地域の良さを活かす県土づくり

■ 国直轄事業と連携した骨太の道づくり 47億4,447万円
国が施行する直轄道路事業と連携した道路整備の推進

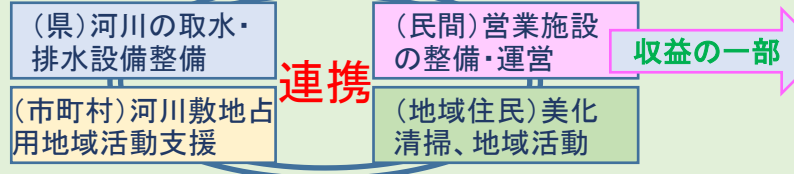


公共交通や道路網の更なる利便性の向上／企業立地の促進／地域経済の活性化
災害発生時における輸送路のリダンダンシー(代替性、多重性)確保

一部新 Next川の再生の推進 **7億291.7万円**

埼玉版SDGsの重点テーマの1つ「埼玉の豊かな水と緑を守り育む」として、豊かな自然と共生しながら持続的に発展する埼玉の実現を目指す

- 水辺deカーボンニュートラルの推進
 - 民間事業者が小水力発電を実施して得られた収益を環境美化や観光施策に活用
※令和4年度実施箇所: 生川／横瀬町など3箇所



(市町村・民間・住民)
・自然環境保全活動
・緊急時の非常用電源

日本一暮らしやすい埼玉に向けた将来像の実現 持続可能な成長を実現する②

災害に強い県土づくり

■ ミッシングリンクの解消

35億2,844.5万円

隣接する都県を繋ぐミッシングリンク(幹線道路の未整備部分)を解消

- 幹線道路の多重化(暫定2車線区間)
- ・円滑な交通の確保
 - ・隣接都県との「人との交流」や「物流」の活性化
 - ・災害時の代替ルートの確保による迅速な避難と救援物資の円滑な輸送



※6路線9箇所について重点的に整備を進める

災害に強い県土

■ 橋りょうの計画的な点検・修繕・更新及び耐震補強

144億3,175.2万円

多くが高度経済成長期に建設されたため、老朽化。道路機能の安全性と信頼性を持続的に確保

- 劣化の進行状況や補修の必要性を把握
⇒556橋の定期点検
- 安全性の確保
⇒計画的な橋りょうの修繕(維持補修)や更新(架換え)
- 大規模地震の発生に備える
⇒耐震補強



橋りょう架換え工事鴻巣川島線(寺家谷橋)

■ 市街地の強靱化のための無電柱化の推進

37億3,022.3万円

昨今、大地震や台風での電柱の倒壊による道路閉鎖により、避難や救急活動に支障が発生のため、埼玉県では平成31年3月に埼玉県無電柱化推進計画を策定



阪神淡路大震災の際の電柱倒壊



令和元年房総半島台風による電柱倒壊

- 防災性向上の観点から、緊急輸送道路の無電柱化を推進

- 災害時の緊急車両等の通行空間の確保
- 安全で円滑な交通の確保
- 良好な景観の形成

【令和4年度実施箇所】
川越所沢線など27箇所



(都)中央通停車場線(志木市)



(都)中央通り線(川越市)

無電柱化の整備箇所

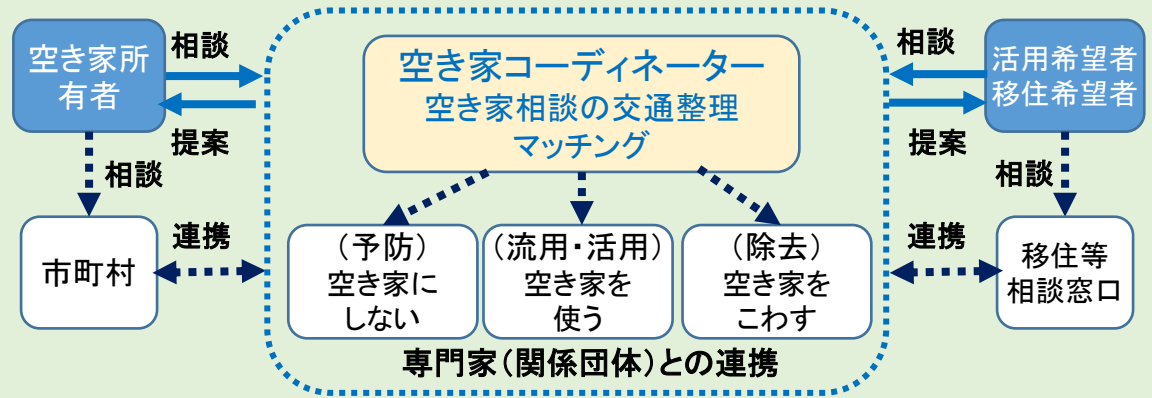
日本一暮らしやすい埼玉に向けた将来像の実現 持続可能な成長を実現する③

災害に強く暮らしやすい都市づくり

空き家対策の促進 2,277.8万円

新 空き家コーディネーター活用事業

専門家を活用する「空き家コーディネーター」を配置し、空き家所有者や活用希望者等からの相談に対する助言・提案や、空き家所有者と活用希望者とのマッチングなどに対応できる体制を整備



● 空き家等対策促進事業

- 「埼玉県空き家対策連絡会議」を通じ、市町村及び関係団体との連携
⇒ 空き家の増加を抑制

● 中古住宅流通・住み替え促進事業

- 空き家バンクや住み替え支援制度などの情報を発信
⇒ 県内への住み替えを促進



生活の質を高める県土づくり

河川・砂防施設の管理徹底、強化 95億7,820.4万円

豪雨が発生した際に河川管理施設等が正常に機能するよう、ダムや排水機場、砂防関係施設の長寿命化計画に基づく施設の計画的な更新を図る

● 堆積土砂の撤去や樹木の伐採



事業実施前



事業実施後

● 局所的な洗掘や河床低下対策

局所的な洗掘や河床低下対策等を実施し、施設の機能回復を図る

● 長寿命化計画に基づく施設の更新等

排水機場、砂防関係施設及びダムの点検を行い、施設の健全度に合わせて適切かつ計画的な維持管理、更新を実施



排水機場のポンプの更新等



ダム等管理施設の堆砂対策
(貯砂堰堤 イメージ)



砂防関係施設の維持管理

日本一暮らしやすい埼玉に向けた将来像の実現 持続可能な成長を実現する④

良質かつ安全な農林水産物を安定供給

一部新 埼玉ブランド農産物推進事業 739.6万円

県が育成した品種を中心にブランド力の強化を図る。需要者や消費者から広く認知されることで、県産農産物の需要を拡大

- 県産農産物販売戦略推進事業
 - 販売対策の検討と、ブランド化に戦略的に取り組む体制の整備

● 県育成品種を中心としたブランド化の強化

- いちご「べにたま」、なし「彩玉」
 - ・地産地との差別化が図れる商品づくり
 - ・戦略的な広報活動
 - ・価格上昇が見込まれる販売先での販売促進
 - ・イメージアップセールス



● デジタルツールを活用した情報発信の強化

- SNSやWEBを活用した情報発信の強化
 - ・インスタグラムを活用したレシピキャンペーン
 - ・県産農産物口コミキャンペーンの実施など

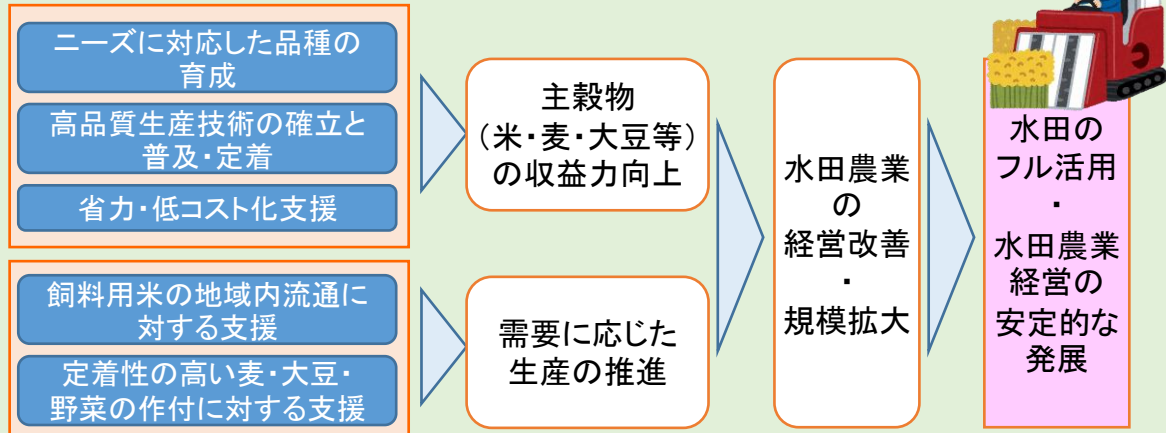
● 駅や量販店等における販売PRの実施



【目指す姿】
誰もが認める埼玉ブランド農産物の創出
(販売力の強化・認知度向上)

一部新 水田フル活用支援事業 2,744万円

- 水田農業をめぐる情勢は大きく変化
- 生産者自らの経営判断がこれまで以上に求められる
実需者ニーズに応じた売れる作物の生産・導入に係る技術対策とその普及・定着に向けた取組、生産拡大に向けた取組を支援



新 果樹産地育成事業 1,600万円

- シャインと輝く果樹産地育成事業
高収益なシャインマスカット栽培に必要な雨よけ施設を農家が共同で導入する取組を支援

温暖化に適応し、儲かる果樹農業を実現



ご静聴ありがとうございました。



fin